

# ゼロカーボンの実現に向けた視点

2019.12.27 長野県

## 事業活動

### 気候変動に適応したサプライチェーンで選ばれる企業に

- ・企業がRE100やゼロカーボンを宣言できるような誘導策を検討すること
- ・ESG投融資を更に活発化するための方策を検討すること

## 家庭

### 県民一人ひとりの行動を積み重ねて大きな成果に

- ・全ての屋根における太陽光・太陽熱利用の誘導策を検討すること
- ・低炭素電源の選択を含めエシカル消費を促進すること

## 交通・まちづくり

### 低炭素なまちづくりで公共交通も活性化

- ・自家用車から低炭素な交通手段への転換を促す施策を検討すること
- ・災害にも強いコンパクトで低炭素なまち(集落)への誘導策を検討すること

## 建築物

### 高断熱・ゼロエネ建築物で健康長寿も日本一

- ・ZEB・ZEH・パッシブハウス等の高性能・高断熱建築物の普及策を検討すること

## グリーンインフラ

### 持続可能で魅力ある県土づくり

- ・都市緑化と植樹を更に推進すること
- ・ハード・ソフト両面において自然環境が有する多様な機能の活用を検討すること

## 再生可能エネルギー

### 地域主導型により再エネ導入を加速化

- ・ポテンシャルを最大限活用すべく、あらゆる分野において再生可能エネルギーの導入策を検討すること
- ・コスト低減に向けた技術革新、資金調達環境の改善策を検討すること

## 県組織の率先実行

### 県組織が自ら学び、気候変動対策の先導役に

- ・県職員は誰もが気候変動を語れるようにすること
- ・県有施設のゼロエネ化に向け、再生可能エネルギーの導入方針や断熱改修等を検討すること

## 県民の行動変容

### 誰もが気候変動を理解し、自ら行動・連携

- ・将来を担う若い世代をコアとする県民一丸の気候行動プラットフォームを始動すること